



わかむぎ

No. 10 令和8年1月15日 <発行者：校長 池田 尚>

新学期に向けて～各学年代表の決意～

1月9日の3学期始業式では、新しい年を迎え、希望に満ちたみなさんのたくさんの笑顔を見ることができました。その中で、各学年、生徒会を代表した生徒のみなさんに決意を発表していただきました。3学期は、各学年の締めくくりの学期であると同時に、来年度に向けてのスタートの学期でもあります。

それぞれの、生徒の素晴らしい発表を紹介いたします。<一部抜粋です>



『最高の仲間』になるために 1年生代表 今村芽衣子

学年スローガン「蒼炎～一人一人を思いやり、みんなが心から楽しめる最高の仲間を追い求め続けよう～」を掲げる中で、振り返れば、私にとって2学期の若麦祭が大きな転機となりました。仲間と声を掛け合い、励まし合った結果、学年1位を取ることができました。しかし、何よりの成果は日常の中で仲間と声を掛け合える関係になったことです。

しかし、まだ課題もありますので学年全体で改善していきたいと思います。2月には新入生説明会で6年生に合唱を披露します。「押中の先輩」としての姿を見せる最初の機会として後輩に何かを伝えられる学年でありたいです。

3学期は、次のステージに向かうための学期です。全員で「最高の仲間」を目指し、一歩ずつ進んでいきます。



3学期に向けての決意 2年生代表 今村埜乃



今日から、1年間の節目となる3学期が始まりました。私たち2年生は、少しずつこの学校の最高学年になるということを意識し始めました。

2月にはスキー教室があり、3年生になると修学旅行も控えているため、集団で活動することや、公共の場での過ごし方など、さまざまな課題と向き合い、改善していく緑学年でありたいと思います。

授業では、これまで以上に集中して受験に向けて少しずつ意識を変えていきたいです。学校生活では、あいさつや時間を守ることなど、当たり前のことを当たり前におこなうことが、周りの仲間や学年全体の雰囲気につながっていきます。

この3学期を悔いのない学期にできるように、1日1日を大切に過ごしていきたいです。

冬休みの振り返りと3学期に向けて 3年生代表 岡野壮汰

みなさんはこの冬休みをどう過ごしましたか？私はこの冬休み、3学期に控えている高校入試のために、家や塾で、毎日6時間の勉強をしてきました。

私は、冬休みのある経験から、入試の本番をイメージして勉強すること、テストに慣れることの大切さを学びました。そして今、自分がやっていることが本当に目標のためになっているのか、これだけをやって目標にたどり着けるのか、よく考えていくようにしたいと思います。

私は、この冬休みで身につけた「目標に向かって何をやればいいのか見極める力」を使い、この3学期にある志望校合格という大きな目標を達成しようと思います。

みなさんも自分の目標にちゃんと向かえているのか、今一度確認してみてください。



新年の抱負 生徒会代表 志村颯真

新年あけましておめでとうございます。冬休みは充実して過ごせたでしょうか。生徒会では2学期の終業式に新生徒会の当選証書授与式がおこなわれました。私は生徒会長として全校一人一人が主人公になれるような学校を目指すために頑張っていきたいと思います。

3学期は、次の学年のゼロ学期とも言われています。生徒会としても今年度の取り組みもおこないつつ、新生徒会の取り組みをたくさん取り入れ、3学期を全校みんながより充

実した生活ができるよう取り組みます。

そして、より笑顔で爽やかな学校をつくるためにたくさんの企画を考えて努力します。みなさんがついてきてくれるかが鍵になります。最高の押原中学校をつくれるよう頑張っていきましょう。

町の新年互礼会より

～角野杏奈さんが新年の抱負を発表～

1月5日（月）に町の新年互礼会がおこなわれました。町長さんの新年のご挨拶に続き、来賓のみなさんからの祝辞、町内の児童生徒からの新年の抱負の発表がありました。本校の新生徒会副会長である角野杏奈さんが代表として発表してくれました。



杏奈さんの抱負は、陸上部部長として部を盛り上げていきたいということや、生徒会副会長として頑張っていきたいなど、元気一杯な発表で、会場に来ていたみなさんからは、「素晴らしいかった。たいへん元気をもらいました！」などの言葉をいただきました。明るく堂々とした発表に、参加者のみなさんからは大きな拍手が送られました。互礼会の様子は後日、町の広報においても紹介されることと思います。